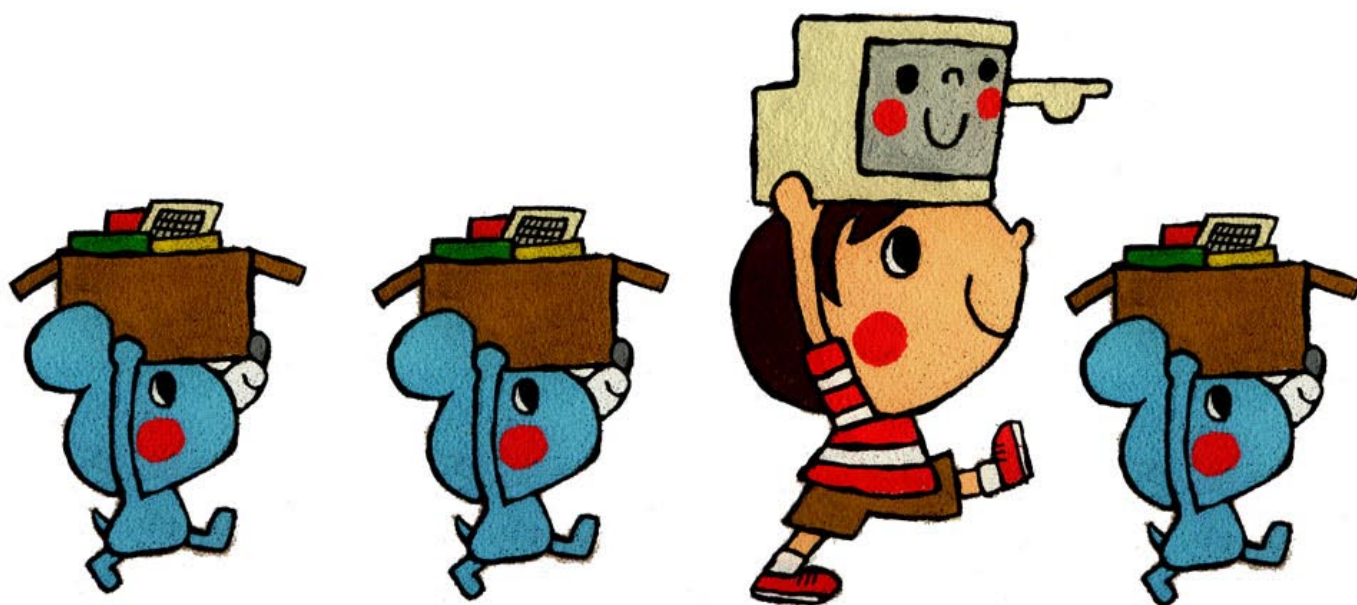




ブロードバンド時代。

いまや市民活動やNPOにもパソコンが必需品です。
わたしたちイーパーツは、地域のために活動している団体や、
障害者・高齢者・子どもたちの夢を応援している団体の
情報化を支援する特定非営利活動法人(NPO)です。

<http://www.eparts-jp.org/>



特定非営利活動法人イーパーツ 活動報告書 (2004.7～2005.6)

特定非営利活動法人イーパーツ 活動報告書(2004.7～2005.6)

目 次

1. イーパーツとは	3
2. イーパーツの主な活動	4
3. 寄贈プログラム	5
3-1. リユースPC寄贈プログラム実施統計	6
3-2. リユースPC寄贈プログラム寄贈団体一覧	8
3-3. 地域版リユースPC寄贈プログラム	10
3-4. リリーフPC寄贈プログラム	12
3-5. リユースカラーレーザープリンタ寄贈プログラム	13
4. スペシャルプロジェクト	14
4-1. 情報を考えるシリーズ	15
4-2. キッズ	17
4-3. 安全安心インターネット	21
4-4. 防災・災害復興	23
4-5. 市民活動の情報化	25
4-6. 研究・出版	27
5. レクチャー	28
5-1. レクチャー実施記録	29
6. イーパーツのこれから	34
7. メディア掲載記録	35
8. 会計報告(2002～2004)	37

1. イーパーツとは

「イーパーツ」(eparts)は、2001年に設立された(2002年法人格取得)、リユースPCやカラーレーザープリンタ等の情報機器を無償で寄贈する活動や、情報セキュリティに関するシンポジウムの開催などを通して、非営利組織・ボランティア団体・障害者グループの支援を目的とする特定非営利活動法人です。

「eparts」とは、「Evolutional PARTner Support」を意味しています。「eparts」の「Evolution(進化)」には「それぞれの環境の下で最適であるものが必要」と考えます。市民活動団体やNPOにとって、それぞれの生活環境や歴史によって、何が必要なのか、何が最適なのが違って来るはずです。

イーパーツのスタッフは様々な職業の人たちから構成されています。私たちはそれら各々の立場から意見を交わすことによって、ある特定の立場に偏ることのない中立な活動を行うとともに、深い洞察をもった学識経験者の意見を取り入れた運営を目指しています。

イーパーツは、決してひとりよがりや善意の押しつけにならないように、その人たちにとってより良い方向へ進んでいくことを応援していこうと考えています。



イーパーツ スタッフ紹介(2004年度)

□コアスタッフ

会田 和弘 鈴木 幸江 皿澤 さとみ

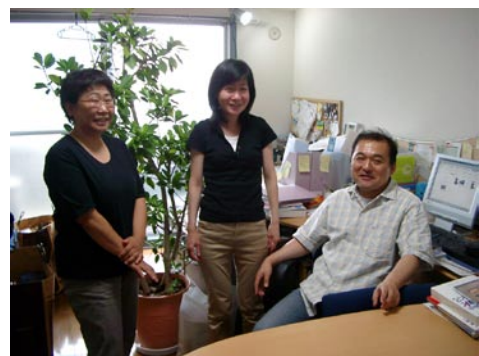
□プロジェクトスタッフ

【パンフレット】市川 徹

【WEB&デザイン】 松原 慶太、きたがわ めぐみ

【ビデオ・映像】山中 資久、生尾 尚子、中山 雅夫

【ボランティア】伊藤 友之、梅澤 和寛、大木 泰子、大嶽 達哉、大庭 スズ子、落合 利香、小野田 建一、金田 百合絵、北澤 梓、熊谷 和貴、古賀 功久、坂本 一喜、須田 晃介、大楽 朝衛、高倉 和典、高橋 正二郎、壇原 浩二、辻 義興、戸円 明人、長岡 秀樹、野口 照喜、廣瀬 美子、廣田 陽一、藤井 習之、堀田 隆佳、宮木 義雄、村瀬 雅樹、矢島 良将、谷津 浩行、山根 健司



事務所にて(2005年6月撮影)

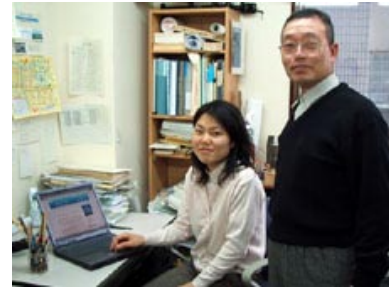
左:皿澤さとみ 中央:鈴木幸江 右:会田和弘

2. イーパーツの主な活動

イーパーツの主な事業は、「寄贈プログラム」「レクチャー」「スペシャルプロジェクト」の3つです。

1) 寄贈プログラム

協賛企業から寄付を受けたパソコンやプリンタ等の情報機器を再生し、必要なソフトウェアとともに、全国の市民活動団体・NPOに寄贈することで市民活動・ボランティア活動の情報化を進めます。



2) スペシャルプロジェクト

情報化社会に関わる社会問題を解決するため、地域や行政のニーズに即した様々なテーマで、官・民・学と協働し、プロジェクトを形成・実施します。プロジェクト内容は、情報コンサルティング・情報化のためのイベント・シンポジウムの企画・実施など、多種多様です。

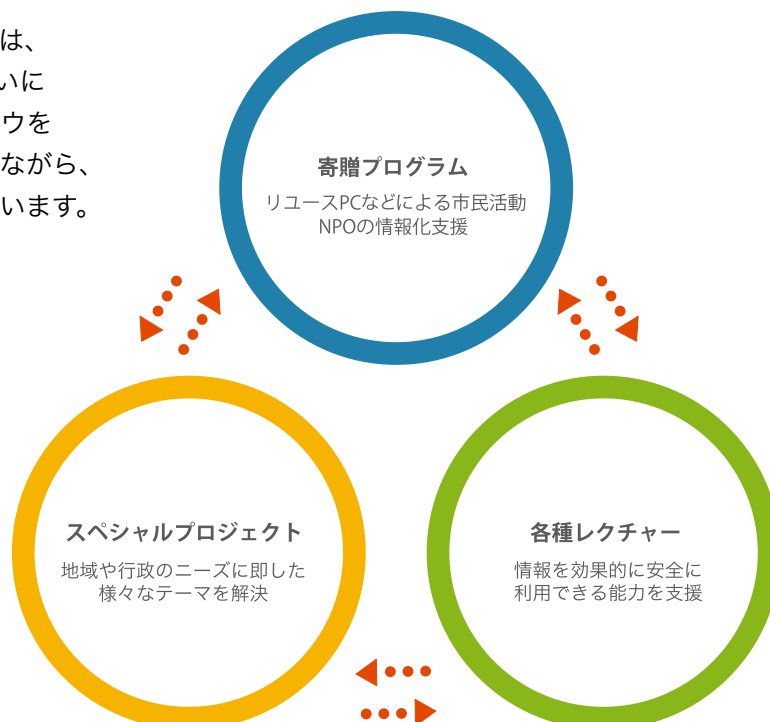


3) レクチャー

情報機器を単に寄贈するだけでは本当の情報化にはつながりません。情報を効果的に安全に利用ができるように、市民活動団体・NPOを対象に、ワード・エクセル講座、ウィルス・セキュリティ対策講座を行っています。



イーパーツの活動は、
3つの事業がお互いに
その経験やノウハウを
フィードバックしながら、
連携して行われています。



3. 寄贈プログラム

「寄贈プログラム」とは、協賛企業から寄付をうけた情報機器を再生し、必要なソフトウェアや周辺機器とともに、全国の市民活動団体・NPOに寄贈することで、市民活動・ボランティア活動の情報化を進める活動です。現在、リユースPC、リユースカラーレーザープリンタの寄贈を行っています。



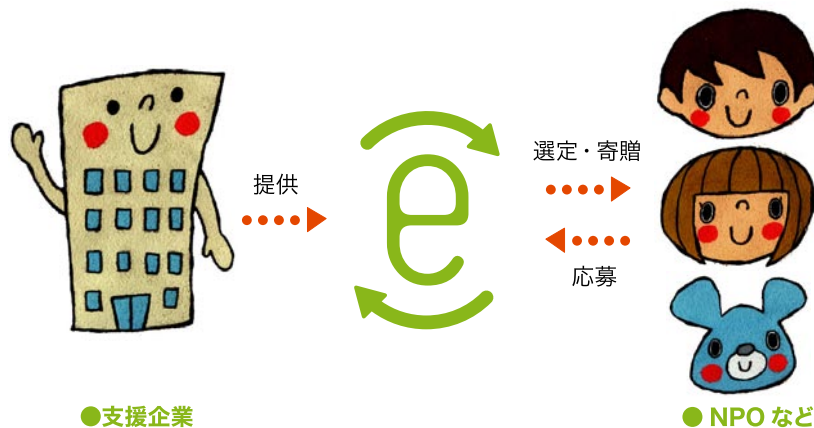
1) リユースPC寄贈プログラム

Windows OS (Me/2000)・Office 2000 をインストールし、ウィルス対策ソフトAntiVirusを添付したセルロン600MHzクラス以上の再生PCの寄贈を、年6回実施している公募プログラムです。団体の活動実績とPCの必要性から優先順位をつけて、寄贈をしています。公募1回の平均応募数は46件、平均寄贈団体数は12団体、1団体あたり平均寄贈台数は2台です。



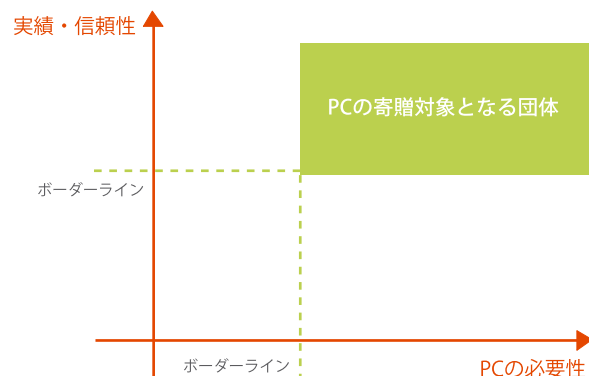
2) リユースカラーレーザープリンタ寄贈プログラム

リコー製カラーレーザープリンタを十分にメンテナンスした状態で、公益的活動を行う際に大量印刷が必要な市民活動団体・ボランティア団体へ寄贈する公募プログラムです。



イーパーツ独自の評価システム

リユースPCの寄贈対象となる市民活動団体・NPOの審査に当たっては、イーパーツ独自の評価システム(Rating System)を採用するとともに、学識経験者・活動実務者を中心とする豊富な経験に基づいた判定を実施しています。これにより客観的な判定が可能となり、ムダのない効率的・効果的な寄贈が実現しています。



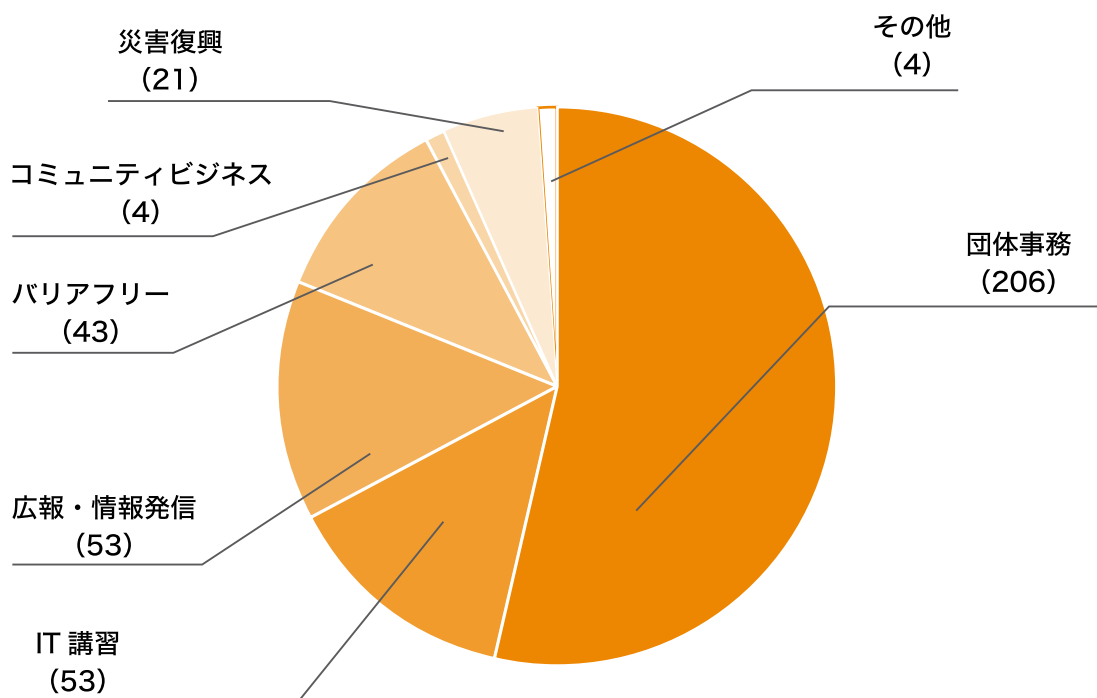
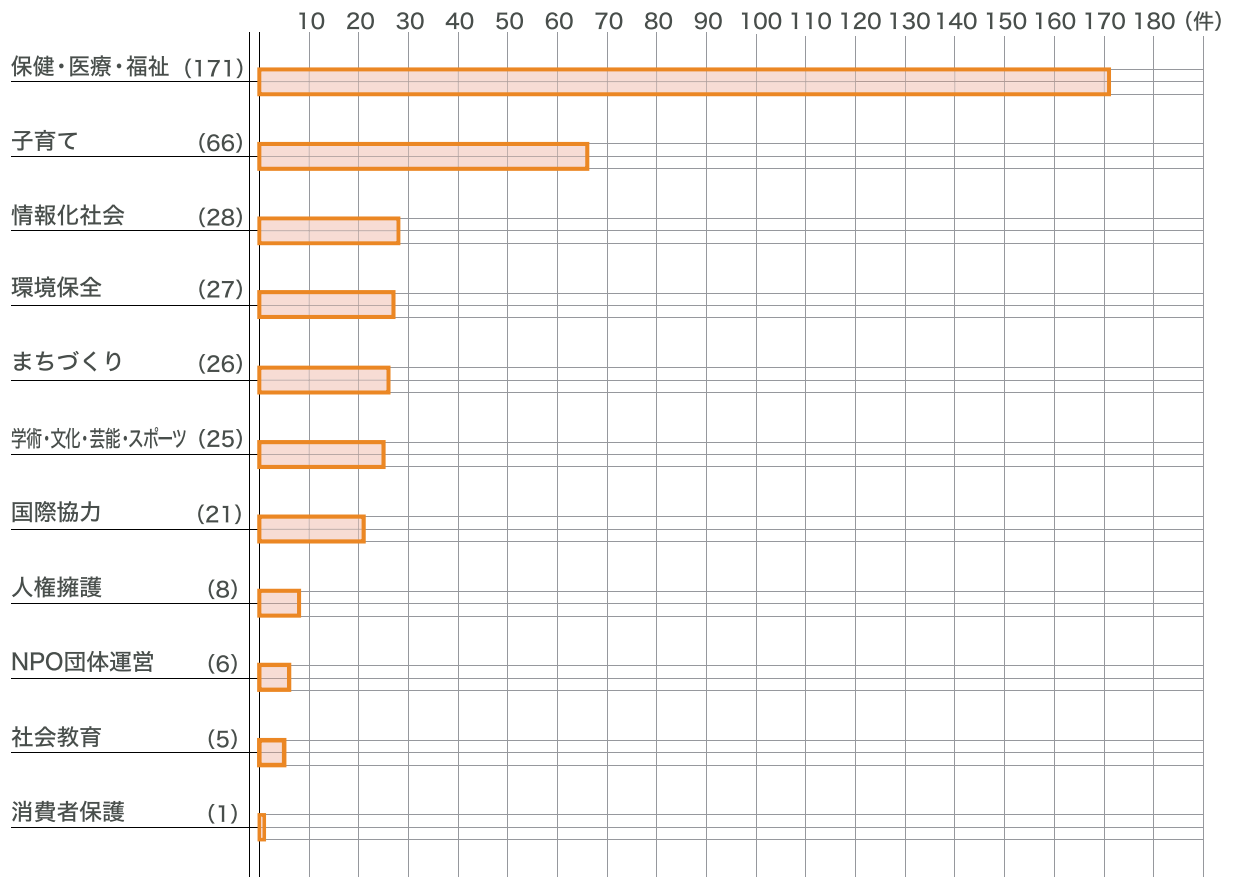
3-1. リユースPC寄贈プログラム実施統計

■公募プログラム実施概要

	応募件数	寄贈件数	寄贈PC数
通常プログラム枠			
2001～2003年度			
2001年度公募プログラム(第1回～第6回)	355件	56件	182台
2002年度公募プログラム(第7回～第13回)	303件	94件	255台
2003年度公募プログラム(第14回～第19回)	395件	125件	224台
小計	1,053件	275件	661件
2004年度			
第20回公募プログラム(2004年6月)	46件	13件	15台
第21回公募プログラム(2004年8月)	39件	10件	13台
第22回公募プログラム(2004年10月)	43件	16件	20台
第23回公募プログラム(2004年12月)	31件	15件	33台
第24回公募プログラム(2005年2月)	42件	12件	23台
第25回公募プログラム(2005年4月)	62件	9件	26台
小計	263件	75件	130件
合計	1,316件	350件	791台
地域版プログラム枠			
世田谷特別版公募プログラム(2003年4月)	5件	5件	72台
第1回兵庫公募プログラム(2004年9月)	16件	5件	6台
第1回伊勢公募プログラム(2005年6月)	7件	3件	9台
小計	28件	13件	87台
リリースプログラム枠			
第1回兵庫公募プログラム(2005年1月)	7件	6件	8台
第2回兵庫公募プログラム(2005年2月)	5件	5件	6台
第1回新潟公募プログラム(2005年2月)	7件	7件	15台
第3回兵庫公募プログラム(2005年5月)	5件	3件	4台
小計	29件	21件	33台
総合計	1,373件	384件	911台



■ 寄贈団体活動分野／寄贈PC使用目的





3-2. リユースPC寄贈プログラム寄贈団体一覧

団体名	所在地	主な活動分野	使用目的	寄贈台数
第20回リユースPC寄贈プログラム(2004年6月)				
(特)くるめ・一歩の会	東京都	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	団体事務	1
(特)自習学館	東京都	子どもの健全育成を図る活動	団体事務	1
(特)ふらっとスペース金剛	大阪府	子どもの健全育成を図る活動	広報・情報発信	1
岐阜市中途失聴・難聴者協会	岐阜県	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	団体事務	1
(特)しみんふくし滋賀	滋賀県	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	団体事務	1
(特)おとくにバオ	京都府	環境の保全を図る活動	広報・情報発信	1
笠岡手引きの会	岡山県	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	バリアフリー	1
(特)ちえのわ福祉会	岩手県	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	団体事務	2
(特)ヒューマンネットワークピア	山口県	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	IT講習	1
(特)ポプリ	兵庫県	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	団体事務	1
(特)じゃがいものおうち	鹿児島県	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	団体事務	1
京都YWCA・APT	京都府	人権の擁護又は平和の推進を図る活動	広報・情報発信	2
(特)アイアンドユウ	秋田県	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	団体事務	1
合計13団体				15台
第21回リユースPC寄贈プログラム(2004年8月)				
(特)HIVと人権・情報センター中部支部	愛知県	人権の擁護又は平和の推進を図る活動	団体事務	1
はさみ子ども劇場	長崎県	子どもの健全育成を図る活動	団体事務	1
(特)ふれあいネット	福岡県	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	団体事務	1
(特)いせコンビニネット	三重県	情報化社会の発展を図る運動	バリアフリー	1
点字学習を支援する会	神奈川県	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	バリアフリー	3
国分寺要約筆記サークル ダンボ	東京都	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	バリアフリー	1
(特)コスファCOSFA	東京都	まちづくりの推進を図る活動	広報・情報発信	1
(特)NPO全国精神障害者団体連合会	東京都	人権の擁護又は平和の推進を図る活動	団体事務	1
食事サービスW. Coなご味	神奈川県	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	団体事務	1
ART LAB OVA(アートラボ・オーバ)	神奈川県	学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	広報・情報発信	2
合計10団体				13台
第22回リユースPC寄贈プログラム(2004年10月)				
社会教育ボランティアグループ 菊川町星を観る会	山口県	学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	広報・情報発信	1
(特)荒畑・もちの木共同保育の会	愛知県	子どもの健全育成を図る活動	団体事務	2
(特)ドリーム・フィールド	静岡県	子どもの健全育成を図る活動	バリアフリー	3
青少年夢プラン実行委員会 You Eye Club	広島県	子どもの健全育成を図る活動	団体事務	1
(特)食事サービス松栄	愛知県	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	団体事務	1
(特)ノウハウ会	大阪府	学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	広報・情報発信	1
草津点字グループ「あゆみ会」	滋賀県	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	バリアフリー	1
(特)静岡県東部バレット市民活動ネットワーク	静岡県	まちづくりの推進を図る活動	団体事務	1
自然エネルギー市民の会	大阪府	環境の保全を図る活動	団体事務	1
(特)手毯の里	岡山県	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	団体事務	1
(社)奈良まちづくりセンター	奈良県	まちづくりの推進を図る活動	広報・情報発信	1
(特)花巻イキイキ・わくわく・クラブ	岩手県	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	団体事務	1
練馬177地域ITリーダーの会	東京都	情報化社会の発展を図る運動	IT講習	2
(特)横浜シュタイナー学園	神奈川県	子どもの健全育成を図る活動	団体事務	1
(特)WEL'S新木場	東京都	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	団体事務	1
横浜自然観察の森友の会	神奈川県	環境の保全を図る活動	広報・情報発信	1
合計16団体				20台



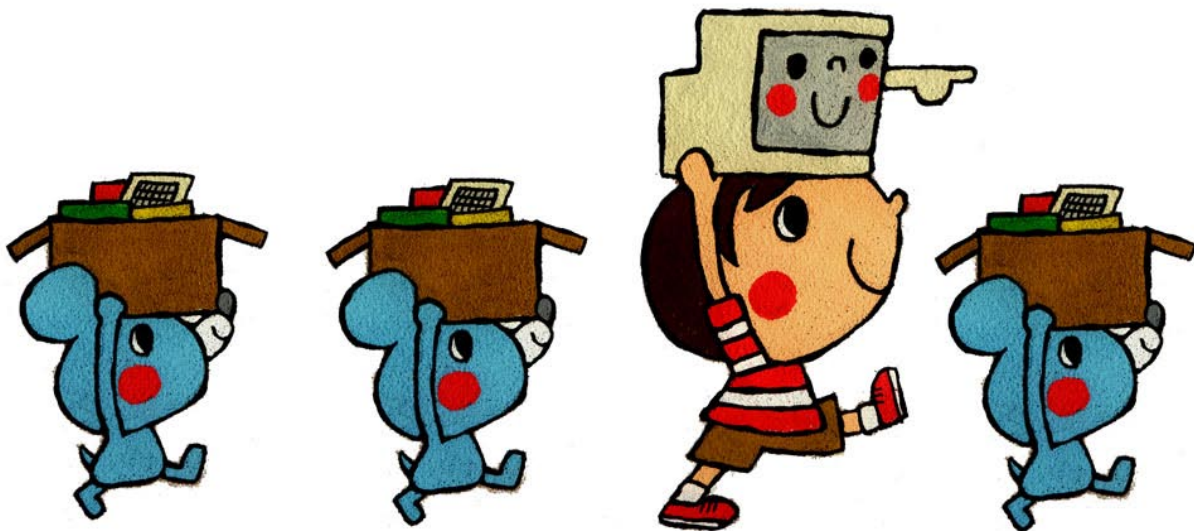
団体名	所在地	主な活動分野	使用目的	寄贈台数
第23回リユースPC寄贈プログラム(2004年12月)				
多文化まちづくり工房	神奈川県	まちづくりの推進を図る活動	広報・情報発信	3
シニアパソコン・ばら	神奈川県	情報化社会の発展を図る運動	IT講習	3
(特)ファミリーハウス	東京都	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	団体事務	2
(特)風の子会かつしか風の子クラブ	東京都	子どもの健全育成を図る活動	広報・情報発信	5
宮崎ダルクデイケアセンター	宮崎県	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	団体事務	1
(特)関西NGO協議会	大阪府	国際協力の活動	団体事務	1
(特)フリースペースばずる	大分県	子どもの健全育成を図る活動	団体事務	1
(特)福祉ワーカーズ泉ヶ丘ホープ	大阪府	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	団体事務	1
太陽共同作業所	京都府	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	広報・情報発信	1
(特)さくらの杜	愛知県	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	広報・情報発信	1
(特)ハヶ岳南麓景観を考える会	山梨県	環境の保全を図る活動	広報・情報発信	1
(特)共生会	愛知県	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	団体事務	1
(特)心の巣箱	静岡県	学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	広報・情報発信	1
(特)恵那山みどりの会	岐阜県	環境の保全を図る活動	広報・情報発信	1
(特)障害者UP大分プロジェクト	大分県	情報化社会の発展を図る運動	IT講習	10
合計15団体				33台
第24回リユースPC寄贈プログラム(2005年2月)				
我孫子野外美術展実行委員会	千葉県	学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	広報・情報発信	2
(特)地球の友と歩む会/LIFE	東京都	環境の保全を図る活動	団体事務	3
共同の家 プアン	神奈川県	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	団体事務	1
企業組合さっずるーむ ていんかあべる	東京都	子どもの健全育成を図る活動	団体事務	1
こうち学生ボランティアネットワークボラの会	高知県	NPOの運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動	団体事務	1
(特)トルシーダ	愛知県	子どもの健全育成を図る活動	IT講習	5
親子支援ネットワークあんだんて	京都府	子どもの健全育成を図る活動	団体事務	1
(特)かすたねっと	広島県	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	団体事務	1
(特)エコロカル ヤス ドット コム	滋賀県	環境の保全を図る活動	IT講習	3
(特)子どもの森	宮崎県	環境の保全を図る活動	団体事務	1
(特)インホープ	京都府	社会教育の推進	団体事務	1
要約筆記サークル「こだま」	京都府	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	バリアフリー	3
合計12団体				23台
第25回リユースPC寄贈プログラム(2005年4月)				
朗読・録音グループ「みどり」	神奈川県	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	バリアフリー	3
(財)世界自然保護基金ジャパン	東京都	環境の保全を図る活動	団体事務	6
リサイクルショップ不思議屋	東京都	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	IT講習	3
(特)地球市民の会	佐賀県	まちづくりの推進を図る活動	団体事務	3
(特)ゆめ・まち・ねっと	静岡県	まちづくりの推進を図る活動	団体事務	1
(特)岡山マインド「こころ」	岡山県	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	団体事務	1
(特)H-imagine	宮崎県	まちづくりの推進を図る活動	コミュニティビジネス	3
FS 阿波 風月庵	徳島県	子どもの健全育成を図る活動	団体事務	3
(特)ジョブネット原	静岡県	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	団体事務	3
合計9団体				26台

3-3. 地域型リユースPC寄贈プログラム

地域型リユースPC寄贈プログラム

イーパーツでは、ITによる市民活動の活性化を各地で促進することを目的に、全国を対象にした通常の「リユースPC寄贈プログラム」のほか、各地域でのリユースPCの寄贈や活用によりいっそう重点を置いた「地域型リユースPC寄贈プログラム」を実施しています。各地域でITを活用した活動を行っている市民活動団体やNPOと提携し、その団体を核として、その地域でのリユースPCの寄贈や寄贈後のサポート、各種講習、また団体同士のネットワーキングを進めています。

団体名	所在地	主な活動分野	使用目的	寄贈台数
第1回ひょうごリユースPC寄贈プログラム(2004年9月)				
(特)障害者情報ネットワーク尼崎	兵庫県	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	IT講習	2
サポートセンターKOAHI	兵庫県	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	広報・情報発信	1
小規模作業所 小春日和	兵庫県	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	団体事務	1
C・キッズ・ネットワーク	兵庫県	子どもの健全育成を図る活動	団体事務	1
アンティ・ネット	兵庫県	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	バリアフリー	1
合計5団体				6台
第1回伊勢リユースPC寄贈プログラム(2005年6月)				
伊勢市聴覚障害者福祉協会	三重県	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	バリアフリー	3
明和町市民活動サポートセンター	三重県	NPOの運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動	広報・情報発信	3
パソコンサークル桔梗	三重県	情報化社会の発展を図る運動	IT講習	3
合計3団体				9台





地域型リユースPC寄贈プログラム提携団体

□神戸市

実施地域	神戸～阪神間の各市
寄贈台数	年間20台程度
提携団体	ひょうごんテック http://hyogontech.net/
活動紹介	兵庫県を中心とした市民活動団体に対して、人材育成を中心軸に据えたICT(情報通信技術)支援を適切に行うことにより、市民活動団体の運営力強化や活動の可能性拡大および市民活動のネットワークづくりなどを目指します。
代表/スタッフ	吉野太郎/高山哲是
連絡先	〒653-0052 神戸市長田区海運町3-3-8 TEL:078-739-7110 FAX:078-739-7120 E-mail:tech@tcc117.org
寄贈後サポート	ICTコンサルティング、パソコントラブル対応、メンテナンス、各種パソコン講座



□山形市

実施地域	山形県山形市内
寄贈台数	年間20台程度
提携団体	Win-SUPPORT山形 http://win-support.c-mamy.net/
活動紹介	2002年より山形県内でIT支援と女性の自己啓発・インキュベーションを支援する活動を行っています。平成16年度は「山形県地域総合サイトyamagata1」のコンソーシアム団体として運営に協力しています。
代表者	海谷美樹
連絡先	〒990-0813 山形市春日町1-38 TEL:023-645-2899 FAX:023-646-3274 E-mail:win-support@c-mamy.net
寄贈後サポート	ITカウンセリング、NPOのためのIT講座



□伊勢市

実施地域	三重県伊勢市
寄贈台数	年間10台程度
提携団体	いせコンビニネット http://www.e-ise.net/
活動紹介	伊勢市を中心に、市民活動団体の情報化支援と交流を目的として、パソコン講習の開催や地域のデータベース作りを行なってきました。現在では、いせ市民活動センターの運営もおこなっており、IT関連だけでなく、地域の市民活動団体の支援という次のステップに進みました。
代表/スタッフ	伊東俊一/浦田宗昭
連絡先	〒516-0037 伊勢市岩渕1丁目2-29 TEL:0596-20-4385 FAX:0596-20-4386 E-mail:info@e-ise.net
寄贈後サポート	パソコン相談、パソコン講座、市民活動支援





3-4. リリーフPC寄贈プログラム

リリーフPC寄贈プログラム

被害の後片付けができて、建物が元に戻っても、心の傷が癒え元の生活に戻るまでにはまだまだ時間がかかります。そのためには、市民活動・ボランティアは欠かせません。イーパーツでは、台風や地震などの被害を受け災害救助法の適用を受けた地域の復興のため、現地の市民団体や企業と連携してリユースPCおよび周辺機器などの寄贈を行いました。

団体名	所在地	主な活動分野	使用目的	寄贈台数
【台風21、23号水害復興支援】 第1回ひょうごリリーフPC寄贈プログラム (2005年1月)				
(特)淡路自立サポートクラブ	兵庫県	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	台風23号復興支援	1
豊岡風の会	兵庫県	まちづくりの推進を図る活動	台風23号復興支援	1
二木会	兵庫県	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	台風23号復興支援	1
どんぐりの会	兵庫県	子どもの健全育成を図る活動	台風23号復興支援	1
小規模作業所こうのとり	兵庫県	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	台風23号復興支援	2
さざなみの会	兵庫県	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	台風23号復興支援	2
合計6団体				8台

【台風21、23号水害復興支援】 第2回ひょうごリリーフPC寄贈プログラム (2005年2月)				
おの地域通貨研究グループ	兵庫県	まちづくりの推進を図る活動	台風23号復興支援	1
(特)宅老所NPO銀ちゃんの家	兵庫県	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	台風23号復興支援	1
(特)アシスト	兵庫県	子どもの健全育成を図る活動	台風23号復興支援	1
(特)デイホーム健々	兵庫県	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	台風23号復興支援	1
OHPおの	兵庫県	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	台風23号復興支援	2
合計5団体				6台

【台風21、23号水害復興支援】 第3回ひょうごリリーフPC寄贈プログラム (2005年5月)				
小野託児サークル このゆびと～まれ	兵庫県	子どもの健全育成を図る活動	台風23号復興支援	1
ボーイスカウト西脇第三団	兵庫県	子どもの健全育成を図る活動	台風23号復興支援	1
(特)グリーンアースin淡路	兵庫県	環境の保全を図る活動	台風23号復興支援	2
合計3団体				4台

【新潟中越震災復興支援】 第1回にいがたリリーフPC寄贈プログラム (2005年2月)				
被災地応援団 越後魂	新潟県	まちづくりの推進を図る活動	新潟中越地震復興支援	1
(特)虹のおと	新潟県	社会教育の推進	新潟中越地震復興支援	1
(特)H&Dエデュケーションル	新潟県	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	新潟中越地震復興支援	3
(特)にいがたエジソン学園	新潟県	子どもの健全育成を図る活動	新潟中越地震復興支援	3
にいがた文化振興ボランティア	新潟県	まちづくりの推進を図る活動	新潟中越地震復興支援	3
(特)合歡の会	新潟県	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	新潟中越地震復興支援	3
明窓会	新潟県	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	新潟中越地震復興支援	1
合計7団体				15台

※新潟については、上記の他に、十日町消防本部へノートPC10台、十日町へFMラジオ100台を寄贈しました。

3-5. リユースカラーレーザープリンタ寄贈プログラム

リユースカラーレーザープリンタ寄贈プログラム

イーパーツでは、支援企業の(株)リコー様のご協力により、市民活動団体やNPOへカラーレーザープリンタを無償で寄贈するプログラムを実施しました。レーザープリンタはコストパフォーマンスがよく、きれいな出力結果を得られます。チラシやパンフなど、大量に印刷が必要な団体、印刷物製作で自立を目指す障害者施設等を中心に寄贈いたしました。

団体名	所在地	主な活動分野	寄贈台数	写真番号
第2回カラーレーザープリンタ寄贈プログラム(2004年7月)				
(特)マンションオーナーズコミュニティ	東京都	まちづくりの推進を図る活動	1	12
(社福)世田谷ボランティア協会	東京都	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	1	11
ART LAB OVA	神奈川県	学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	1	3
(特)エービーエスティ(APSD)	東京都	国際協力の活動	1	16
(特)ADRA Japan	東京都	国際NGOの日本支部	1	14
(特)グループ 彩	千葉県	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	1	5
(特)ハビタット・フォー・ヒューマニティ・ジャパン	東京都	住居建築専門のNGO	1	15
(特)ノマドインターナショナル	東京都	国際教育支援の活動	1	6
(特)日本ブルキナファソ友好協会	千葉県	国際協力の活動	1	4
(特)ニッポン・アクティブライフ・クラブ 東横浜活動拠点	神奈川県	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	1	10
(特)ナチュラルフェローズ	神奈川県	環境の保全を図る活動	1	18
(特)こだま	千葉県	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	1	13
(特)日本NPOセンター	東京都	NPOの運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動	1	
多文化まちづくり工房	神奈川県	まちづくりの推進を図る活動	1	
(特)雅夢	大阪府	学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	1	2
(特)日本災害救援ボランティアネットワーク	兵庫県	国内外の被災者救援や被災地の復興支援活動	1	8
(特)教育ルネッサンス	埼玉県	環境の保全を図る活動	1	9
ひょうごんテック	兵庫県	NPOの運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動	1	17
(特)アバの森	千葉県	人権の擁護又は平和の推進を図る活動	1	1
(特)ボラみみより情報局	愛知県	NPOの運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動	1	7
合計20団体			20台	

カラーレーザープリンタ寄贈団体のみなさん



4. スペシャルプロジェクト

急速に進む情報化によって、社会は様々な問題を抱えています。著作権、個人情報、インターネットの安全利用、子どものインターネット利用等に関わる問題が指摘されています。また同時に、どのように情報を有効活用すべきかも問われています。市民活動団体も、このような問題を無視して活動はできません。イーパーツでは、情報化に伴う様々な課題を、地域や行政のニーズに即した形で具体化し解消するを試みを行っています。



2004年度は、以下のテーマを取り扱いました。

「情報を考える」情報化社会において問題視されることを専門家を交えて議論し共に学ぶ。

「キッズ」パソコンやインターネットを子どもにどう使わせるか。パソコンで何ができるかを子ども達と一緒に考える。



「安心安全インターネット」被害者にも加害者にもなることなく、インターネットやパソコンを使うにはどのようにしたらよいか。

「防災・災害復興」災害時にインターネットやパソコンを有効利用する。災害復興に情報をどのように有効活用すべきか。来るべき災害に備え、情報をどう整理し人と人とのコミュニケーションをどのようにつくるか。

「市民活動の情報化」市民活動にとって情報化とは何か。どのような情報化の実例があるか。情報化への課題とは何か。

■主な実施プロジェクト一覧

テーマ名	実施プロジェクト	実施地域	実施回数	対象数
情報を考えるシリーズ		東京都世田谷区	1回	100名
キッズ	PC分解講座	東京都・神奈川県	3回	100名
	スクイークプログラミング講座	東京都世田谷区	2回	80名
	インターネット講座	東京都世田谷区	1回	40名
	パソコン講座	東京都世田谷区	2回	80名
	PC組立講座	東京都世田谷区	1回	40名
安心安全 インターネット	子どものインターネット利用	東京都・神奈川県	2回	150名
	インターネット安全運動	全国8カ所を予定		
	個人情報保護	神奈川県	1団体	30名
防災・災害復興	新潟中越震災緊急寄贈	長岡市・十日町	2回	
	新潟中越復興市民活動支援寄贈	新潟県	1回	7団体
	2004年10月台風21号・23号水害		3回	14団体
	新潟中越震災復興支援(えちごそうる)	新潟県長岡市		1団体
	防災マップづくり			200名
市民活動の情報化	市民活動フォトコンテスト	全国	1回	10団体
	弁論大会	三重県伊勢市	1回	4団体
研究・出版	『インターネット上の誹謗中傷と責任』			

4-1. 情報を考えるシリーズ

市民活動を進める際、情報化社会で課題となっているテーマを専門家を交え共に学びます。2003年度「インターネットリスクマネジメント講座」に続き、2004年度は著作権を取り上げました。今、クリエイターがどういう問題を抱え、解消しようとしているのか、社会システムをどう変えるべきかを考えました。

第2回 シンポジウム「著作権ってどうよ？」

著作権は作家の創造性を保護するためのものとされています。しかし、そもそも「創造性」とは何を意味するのでしょうか。まねをすることは違法なのでしょうか、そもそも創作はまねから始まったはず。コピーとまねはどこが違うのか、デジタルとアナログではどう違うのかなどを念頭に置き、創作活動に関わる著作権について、デジタルクリエイター、弁護士、落語家、マンガ評論家を交えて議論しました。

日時： 2004年11月7日13:00~19:00

会場：世田谷文化生活情報センター(三軒茶屋)

主催：イーパーツ、せたがや情報化プロジェクトチーム (SIPT)

共催：(財)せたがや文化財団 生活工房

協賛：アドビシステムズ(株)、(株)大塚商会、(株)キャラバン

協力：DigitalCamp!、ヤフー(株)

後援：世田谷区

※ストリーミング配信

キャラバン様のご協力で、FOMAを用い会場の様子をインターネットで同時配信し、会場外からの参加を可能としました。

パネラー： かわはら ひでお(写真家/WEB制作ディレクター)

渡部 健司(CGIプロデューサー&スーパーバイザー/デジタルコンテンツプロデューサー/DigitalCamp!代表)

きたがわ めぐみ(イラストレーター)

牧野 二郎(弁護士)

三遊亭 圓窓(噺家)

米沢 嘉博(マンガ評論家/コミケット代表)

会田 和弘(イーパーツ)

メディア掲載： ITmedia「どう守る？ クリエイターの著作権」

共同通信「クリエイターは権利主張を 著作権めぐりシンポジウム」

産経Web「クリエイターは権利主張を 著作権めぐりシンポジウム」

第一部：基調チャット「クリエイターにとって創造性とは」(13:00~14:30)

クリエイターにとって「オリジナリティ」とは何かについて意見交換を行う予定でしたが、自分たちのオリジナリティをどう守るか、どう育てるかが中心となりました。まず、クリエイター単独で主張するには「著作権」が複雑すぎる。そして「著作権」は利益をうみだすものである。クリエイターに主張して欲しくないという出版社などのメディアの現状もあることが報告されました。その中で、どのように自分達の権利を主張していくのか。クリエイターが声を出して主張すること、クリエイターの立場で、マネージメントをやってくれるような団体の必要であることが議論されました。

(ファシリテーター/かわはらひでお、クリエイター/渡部健司、きたがわめぐみ)



第二部：基調講演「デジタル時代の著作権」(14:45~15:45)

著作権法は明治につくられた法律です。デジタルがメディアの中心である現在、新たな視点から問い直されなければなりません。今、Winnyによって代表されるように、さまざまな問題が起こっています。著作権・創造者の権利・消費者の利便性を守るため何が問題で今後どのような制度が必要とされているのか、その一つの可能性として、クリエイティブコモンズが紹介されました。これは、業界団体や顧問弁護士に頼ることなく、クリエイターが自らWebで自らの著作権を世界に向かって主張できるものです。

(講師/ 牧野二郎)



第三部：落語 「萩ほめ」(16:00~16:20)

伝統芸能は、口述伝承の世界です。師匠のまねをすることから始まり、まねを超えた「自分」をつくり、それが認められて一人前となります。そのオリジナリティは一門という制度で育てられます。その歴史に裏打ちされた技を体感しました。

(噺家/三遊亭圓窓)



第四部：パネルディスカッション「模倣と創造性 ～創作を育むものとは～」(16:30~18:00)

デジタルクリエイターvs弁護士vs落語家、そしてマンガ評論家を交え率直な意見交換を行い、創造性とは何か、模倣とは何か、「創造性」を保護するために必要なものは何かを考えます。そして、アナログからデジタルへ保護システムが変異する中、クリエイターは著作権とどう付き合えばよいのでしょうか？クリエイターが存分にその能力を発揮でき、私たちが潤いに満ちた生活を送るために、私たち一人一人が考えなければならないことは何か、クリエイターへメッセージを送りました。(ファシリテーター/会田和弘、パネラー/かわはらひでお、三遊亭圓窓、牧野二郎、渡部健司、ゲスト/米沢嘉博)



4-2. キッズ

子どもたちと一緒にパソコンを分解したり組み立てたり、プログラミングをします。未来の科学者が生まれるかもしれません。

PC分解講座

パソコンをグループになって、パソコンを分解します。外のカバーを外して、細かい配線やマザーボード上のたくさんの部品、ハードディスクの仕組みを見ながら、最後までバラバラにしていきます。身近になったパソコンですが、分解し中身を調べられる機会がそうそうありません。分解を通して、子ども達に、科学・ものづくりのすばらしさを体感してしてもらいました。

「パソコンを壊してみよう」

日時: 2004年9月19日 13:00~15:00

会場: 世田谷区立旭小学校

主催: 旭SUNSUNスクール
技術協力: イーパーツ

講師: 会田 和弘(イーパーツ)

参加人数: 親子15組、40名

「PC分解講座」

日時: 2005年2月19日 13:00~16:00

会場: 磯子区市民文化センター杉田劇場リハーサル室

主催: ネットデブプロジェクトよこはま (IIESP横浜)
共催: イーパーツ

参加人数: 20名

「パソコン分解講座」

日時: 2005年5月14日 13:00~15:30

会場: 世田谷区立旭小学校

主催: 全国e-タウンフォーラム
共催: イーパーツ

講師: 会田 和弘(イーパーツ)

参加人数: 親子15組、40名

《当日の講座の様子》



スクイークプログラミング講座

「スクイーク」は、アランケイがつくり出したプログラム言語です。プログラムについて特別な知識が必要ないようにできています。自分たちの書いた絵を画面上で動かしたり、音を鳴らしたり、作曲することもできます。と言っても幼稚なソフトではありません。SmartTalkという高度なプログラム言語からできていて、それを子ども達が使いやすいようにビジュアル化したものです。子ども達は、あっという間に自分のものとしてしまいます。イーパーツは、スクイークで子ども達の創造性・独創性・論理性を応援します。

「ITプレイパーク」スクイーク講座

日時: 【第1回】2005年6月11日13:30~15:00
【第2回】2005年6月24日13:30~15:00

会場: 東京都世田谷区立旭小学校

主催: 旭SUNSUNスクール
技術協力: イーパーツ

参加人数: 親子20組、40名(各回とも)

内容:

【第1回】

まず、スクイークをつかってみよう。画面上で、車を戦後左右そして回転させるプログラムをつくってみました。

【第2回】

画面上に書いた道路にそって車が走るプログラムをつくりました。

《スタッフによる事前研修の様子》



《当日の講座の様子》



インターネット講座

インターネットは今や必需品となりつつあります。子ども達が困らないように、インターネットの上手で安全な使い方を伝えます。

「親子でブログ講座」

日時: 2005年3月5日 13:30~15:00

会場: 東京都世田谷区立旭小学校

主催: 旭SUNSUNスクール
技術協力: イーパーツ

参加人数: 親子20組、40名

内容: 特別なソフトがいないブログを体験しました。絵を自由に載せることができないが、ちょっと不満だったようです。

パソコン講座

パソコンを使ってどんなことができるか、子ども達といろいろと楽しんでみました。

「うちわをつくってみよう」

日時: 2004年7月19日 13:30~15:00

会場: 東京都世田谷区立旭小学校

主催: 旭SUNSUNスクール
技術協力: イーパーツ

参加人数: 親子20組、40名

内容: 自分だけのオリジナルMyうちわを、パソコンを使ってワードで絵を入れて色をつけて、親子でそれぞれ完成させました。子ども達の、個性ある作品に予想以上の想像力があり、大人たちが圧倒され気味でした。



「クリスマスカードをつくろう」

日時: 2004年12月12日

会場: 東京都世田谷区立旭小学校

主催: 旭SUNSUNスクール
技術協力: イーパーツ

参加人数: 親子20組、40名

内容: もうすぐクリスマス！ということで、クリスマスカードをWordで作ってみました。中には年賀状をつくっている人も！ 画像はマイクロソフトのクリップアートをネットから入手し、自分だけのオリジナルカードを作りました。



PC組立講座

机の上には、バラバラになったパソコンが、子ども達がこれを組み立て動くマシンにします。その前に、パソコンの仕組みについての勉強します。教わったようにできるとは限りません。自分で組み立てたパソコン、ちゃんと動くかな？科学とものづくりのすばらしさを体験を応援します。

旭SUNSUNスクール「パソコンをつくってみよう」

日時: 2004年9月26日 13:00～15:00

会場: 世田谷区立旭小学校

主催: 旭SUNSUNスクール

技術協力: イーパーツ

講師: 野村 義紀(ネットデイプロジェクトよこはま)

参加人数: 親子15組、40名



旭SUNSUNスクール

「旭SUNSUNスクール」は、世田谷区立旭小学校で行われている「子どもの居場所づくりプロジェクト」です。「サッカー」「地域探検隊」「地域名人学校」「ITプレイパーク」等の活動を中心に、地域・学校・保護者が協働し、元気で明るい子どもたちをサポートしています。

イーパーツでは、2003年度よりIT部門のトータルプロデュースを行ってきました。保護者・先生と一緒に子供たちに何を伝えたいかを考え、月2回のペースでイベントを実施しています。

2004年度は、「パソコンをより創造的に使おう」とプログラミングやロボット講座を企画実施中です。

4-3. 安心安全インターネット

個人情報、著作権、有害情報、スパイウェアなど、インターネットを安全に安心して使い、被害者にも加害者にもならない方法を考えます。

子どものインターネット利用

インターネットは正しく使えば、百科事典にも乗っていない新しい情報を沢山知ることができますが、思わぬ事態を招く可能性もあります。子どもが安全に楽しくインターネットをするために、問題解決やネットでのマナーを教えました。

基調講演「リユースPCの活用と情報教育」・ワークショップ「情報教育で何をするか？」

日時: 2004年7月15日

会場: 横浜市教育文化センター

主催: 横浜市民メディア連絡協議会

後援: 横浜市教育委員会、協働のありかた研究会よこはま、情報誌「ばど」他

協力: 特定非営利活動法人イーパーツ、特定非営利活動法人全国eタウンフォーラム、(社)横浜青年会議所「横浜ひとつくり推進事業」他

講師・ファシリテータ: 会田 和弘(イーパーツ)

横浜市教育委員会が進めるネットデイを支援するフォーラムにて、リユースPCを利用した情報教育について講演しました。

講演内容:

- (1) インターネット上で子どもをどう守るか
- (2) コミュニティによる子育ての重要性
- (3) ネットデイによる地域コミュニティ支援
- (4) ネットデイは学校・子ども達への夢が集まる場



「親子で安全インターネット教室」

日時: 2004年11月28日13:00~15:00

会場: 世田谷区立旭小学校

主催: イーパーツ、旭SUNSUNスクール

協力: ヤフー株式会社 yahooきっず!

参加人数: 親子20組、40名

講座概要: 子ども達はさっそくチャットで学んだことを実践、その間、保護者・先生・Yahooきっず担当者で、子どものインターネット利用についての三者ミーティングを行いました。学校でできること、プロバイダががんばっていること、家庭ではどうしたらよいのか、そんなことを話し合いました。

カリキュラム:

【第1部】yahooきっず! 担当者による安全インターネット教室

【第2部】子ども達のチャット体験

【第3部】保護者・先生・Yahooきっず担当者で

「子どものインターネット環境」についての三者ミーティング



インターネット安全運動

イーパーツでは、インターネット安全運動に賛同し、以下の講座やキャンペーンに主催・共催・後援します。

- 1) イーパーツ主催「地域で安心、親子インターネット安全教室」2005/7/16実施予定
- 2) NPO法人全国 e タウンフォーラム主催・イーパーツ協力「ネットデイフォーラム4: 地域を核とした情報安全教育の必要性」2005/ 6/18実施(※実施レクチャー報告33ページ参照)
- 3) WIN-SUPPORT山形主催・イーパーツ共催「きっず安全インターネット体験」2005/ 7/2実施予定
- 4) 株式会社イータウン主催・イーパーツ共催「インターネット上での誹謗中傷に関するセミナー」2005/ 7/9実施予定
- 5) 関東学生セキュリティ研究会主催・イーパーツ共催「ワークショップ『ネットしてますか?』」2005/ 7/9実施予定
- 6) マイクロソフト株式会社主催・(財)ハイパーネットワーク社会研究所、イーパーツ共催「Microsoft UPプログラム支援によるIT教育者向けセキュリティ講習会」2005/ 7/14実施予定
- 7) 旭SUSUNスクール主催・イーパーツ共催「インターネット安全キャンペーン」2005/ 7/15実施予定
- 8) 被災地応援団 えちこそう主催・イーパーツ共催「インターネット安全キャンペーン」2005/6/18～7/19 実施

「インターネット安全運動」とは: インターネットが急速に普及する中、私たちが被害者にも加害者にもなることなくインターネットを上手に使うためにどのようなことに注意すべきかを考えていく必要が出てきました。特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)は実行委員会を組織し、2005 年6 月18 日～ 7 月18 日の1 カ月間を「インターネット安全運動」集中期間と定め、次の5つのテーマに関する問題意識の醸成と安全対策の啓発を市民・企業・行政と一緒に進めます。

1. インターネットの安全な利用
2. 子供、シニア、障害者の方向けの安全対策
3. インターネット詐欺対策
4. 個人情報の保護
5. ウィルス、悪意のある攻撃からの保護

※インターネット安全運動ホームページ: <http://www.jnsa.org/safety/>



個人情報保護

NPOにとっても個人情報保護は重要であるが、組織のための保護体制づくりのマニュアルは大企業向けのものが多く、NPO向けはなかなかない。本来の市民活動への影響を少なくし、活動をできるだけ止めることなく、保護体制づくりを進める。

NPO のための個人情報保護体制づくり

日時: 2005年5月23日19:00～21:00

対象: 特定非営利活動法人まちづくり情報センターかながわ

スケジュール: コンプライアンスプログラム(CP)のスケジュールを以下に示します。

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
キックオフミーティング	4/18	5/3										
個人情報の特定		5/3										
CP組織の構築		5/3										
システム構築計画		5/3										
個人情報リスク分析			6/3									
個人情報保護マニュアル策定			●									
初年度リスク対応計画策定			●									
CP内部規定策定				●								
CP教育及びテキスト作成		5/12		●								
CP監査計画				●								
役員向けCP教育				●								
運用開始					●							
CP見直し								●				

構築されたCPは、計画(Plan)、実施(Do)、監査(Check)、見直し(Act)のサイクルによる継続的な実施を念頭に入れ計画します。

4-4. 防災・災害復興

イーパーツは、災害時に正しい情報をどのように適切な場所に伝えたらよいかに着目しています。その具体的な活動として、災害直後における情報機器の緊急寄贈、災害復興を進める市民団体へのリユースPC寄贈および情報化支援、防災に関するレクチャー・シンポジウムを行っています。

2004年10月23日 新潟中越地震

緊急寄贈

生命・財産の保護、一日でも早い災害復旧という側面から、従来の枠にとらわれることなく、緊急性の高い物資を災害地へ寄贈しました。

【ノートPC寄贈】

新潟十日町消防本部 ノートPC10台 (04/11/03)
中央グループ様提供のGISソフトを入れて寄贈しました。

【FMラジオ寄贈】

新潟十日町被災外国人 FMラジオ100台 (04/11/09)
大塚商会様ご提供の「発電機付ラジオ」をFMわいわいと連携し災害地の外国人へ多言語災害放送用として寄贈しました。新潟から集められた情報はいったん神戸FMわいわいに集められ8カ国語に翻訳の上録音されました。その音声データが新潟にインターネットで送られ、FMで放送されました。NPOと企業そしてボランティアがリレーし成果を出しました。

リユースPC寄贈

対象は、2004年10月新潟中越地震で被害を受け災害救助法の適用を受けた地域に本拠地を置く以下の市民活動団体です。

被災地応援団 越後魂、(特)虹のおと《写真真》、(特)H&Dエデュケーショナル、
(特)にいがたエジソン学園、にいがた文化復興ボランティア、(特)合歓の会、
明窓会

※詳しくは12ページ「リリーフリーユースPC寄贈プログラム」をご覧ください



2004年10月 台風21号・23号水害

リユースPC寄贈

ひょうごんテックと連携し、兵庫県内の災害復興をすすめる市民団体にリユースPCを寄贈しました。対象は、2004年10月台風21号・23号で被害を受け災害救助法の適用を受けた5市15町に本拠地を置く以下の市民活動団体です。

(特)淡路自立サポートクラブ、豊岡風の会、二木会、どんぐりの会、小規模作業所こうのとり、さざなみの会、おの地域通貨研究グループ、(特)宅老所NPO銀ちゃんの家、(特)アシスト《写真下左》、(特)デイホーム健々《写真下右》、OHPおの、小野託児サークル このゆびと〜まれ、ボーイスカウト西脇第三団、(特)グリーンアースin淡路

※詳しくは、12ページ「リリーフリーユースPC寄贈プログラム」をご覧ください。



えちごそうる

新潟中越大地震で被害を受けた地域で復興を進める団体「えちごそうる」へ情報化支援を行いました。また、インターネットを利用した運営や広報など実務へのアドバイスを行うとともに、他の支援団体との連携を進め、災害復興支援団体の自立をめざした総合的情報サポートを行っています。

2005年1月29日	えちごそうるへの支援開始
2005年2月2日	運営・Web開設に関するメール相談開始
2005年2月7日	個人情報の取り扱いについて、オンラインレクチャー
2005年2月11日	長岡にて第1回オフラインミーティング 寄付システム、運営方法、webコンテンツづくりを話し合う リユースPCを1台寄贈
2005年2月24日	長岡協賛店舗拡大へむけて活動開始、Webコンテンツづくりへ
2005年3月2日	オンライン寄付の成果と問題点に関するオンラインレクチャー
2005年3月16日	えちごそうるの活動企画決定、Webづくりへ
2005年4月7日	横浜地域ポータル「かみおおかe-town」へWeb制作依頼 長岡と上大岡とをつなぐ連携事業を提案
2005年4月8日	横浜地域ポータル「かみおおかe-town」がえちごそうるWeb制作開始
2005年5月20日	新潟中越震災復興グループ「えちごそうる」のホームページをオープン http://www.echigosoul.com/
2005年5月27,28日	横浜地域ポータル「かみおおかe-town」とえちごそうるとのオフラインミーティングを開催 運営方法と今後の展開について議論 第1回交流事業として、11月5日えちごそうるが横浜港南台ボランティアフェスティバルへ出店決定
2005年6月2日	えちごそうる、アサヒニュースターで紹介される
2005年6月3日	Web Shopを運営するものとしてインターネット安全運動に参加し、活動を周知させることを決定
2005年6月27日	第2回交流事業として、11月13日 世田谷ボランティア協会バザーへのえちごそうる参加に関して打ち合わせ
2005年6月30日	インターネット安全運動プレスリリース作成オンラインレクチャー



災害地復興支援金

イーパーツでは、台風や地震などの被害を受け災害救助法の適用を受けた地域の復興のため、現地の市民団体や企業と連携してリユースPCおよび周辺機器などの寄贈を行っています。被害の後片付けができて、建物が元に戻っても、心の傷が癒え元の生活に戻るまでにはまだまだ時間がかかります。そのためには、市民活動・ボランティアは欠かせません。イーパーツでは、そのような市民活動団体へPCなどの支援品を寄贈しています。

□総額(2005年5月12日現在):68,305円

第1期(24団体):58,305円 第2期(7団体):10,000円

□支援金利用明細(2005年6月24日現在):

にいがたりーフPC寄贈プロジェクトちらし発送費:1,160円

ノートPC及びライセンス書類発送費(30台):29,260円

□ご寄付いただいた団体のみなさま(敬称略):

第1期…「著作権ってどうよ」受講者有志、NPO法人ふれあいネット、NPO法人マンションオーナーズコミュニティ、ART LAB OVA、NPO法人コスファ、NPO法人日本ブルキナファソ友好協会、NPO法人ハビタット・フォー・ヒューマニティ・ジャパン、NPO法人APSD、NPO法人こだま、NALC東横浜、点字学習を支援する会、HIVと人権・情報センター中部支部、NPO法人・あきたパートナーシップ、練馬177地域ITリーダーの会、横浜シュタイナー学園、サポートセンターコア、いせコンビニネット「いせ市民活動センター・音楽がむすぶ市民活動チャリティーコンサート」、社会教育ボランティアグループ菊川町星を觀る会、NPO法人WEL'S新木場、NPO法人静岡県東部バレットネットワーク、エルマーの会、NPO法人心の巣箱、NPO法人食事サービス松栄、NPO共生会

第2期…草津点字グループ「あゆみ会」柴田淳子、NPO法人ノウハウ会、自然エネルギー市民の会、NPO法人荒畑・もちの木共同保育の会、シニアパソボラ・ばら、You Eye Club、NPO法人エコロカルヤス.com

防災マップづくり

災害時に地域がどう連携するか、情報をどのように活用するか、事前に何をすべきかの観点から、まちあるき防災マップづくりを「横浜ネットディフォーラム3」で開催しました。

横浜ネットディフォーラム3「大地震でも「防災わいわいマップ」があれば大丈夫～学校って防災拠点なんだ～」

日時:2005年2月19日

会場:横浜市立洋光台第1中学校付近、磯子区市民文化センター
杉田劇場リハーサル室

主催:ネットディプロジェクト横浜(旧ESPよこはま)

共催:特定非営利活動法人イーパーツ、横浜市民メディア連絡会、ネットディ横浜の奇跡実行委員会

後援:横浜市教育委員会

(1)レクチャー (講師:中川 和之(時事通信社))《写真右上》

阪神淡路大震災ではどんな地震だったのか、関東大震災はどういう被害が出たのかを理解した上で、今、自分たちのまちの近くに断層があるか、どのような歴史で発展してきたのか、地震がここで起こったらどういう被害が想定されるかを、横浜の防災地図「わいわい防災マップ」を使って、事前レクチャーを受けます。



(2)洋光台周辺、防災ウォーキング《写真右中上、中下》

いよいよ、デジカメ、地図を手にウォーキングです。地図係、記録係、ポイント発見係と役割分担します。まちを見るポイントは、危険なところ、安全なところ、大好きで守りたいところです。

(3)ワークショップ「防災マップづくり」《写真右下》

ウォーキングで集めた情報をみんなで話し合いながらポストイットで出し合います。同時に、デジカメ写真と一緒に整理していきます。その後、ファシリテータの中川氏にコメントをもらいました。危険なところ、安全なところ、大好きで守りたいところ毎に整理し白地図へマップしていきます。みんなでもちを知り、自分たちの生活や文化を知ることが防災と復興に大きな力となることを実感しました。この結果はWebに反映させれば地域で共有できます。(完成したマップは以下の写真の通りです)



【参考】防災WebMap

- ・防災拠点・能見台小学校 (NOTAを使用)
- ・めじる・カキコまっぷ (カキコまっぷを使用)



4-5. 市民活動の情報化

市民活動フォトコンテスト

株式会社アイ・オー・データ機器様のご協力により、リユースPC寄贈団体の皆さまの日頃の活動の様子を撮影した写真のコンテストを行いました。対象となる寄贈団体280団体からご応募いただき、活動内容と応募写真より「生き生き部門賞」「がんばり部門賞」「フリー部門賞」「審査員特別賞」として10団体を選び表彰しました。

応募期間:	2004年6月18日~7月20日	主催: イーパーツ
結果公表日:	2004年8月9日	協力: (株)アイ・オー・データ機器

対象: イーパーツリユースPC寄贈団体(第1~17回までの寄贈団体)

募集部門: 「いきいき部門」明るい笑顔やいきいきした表情など活動の楽しさを表現したもの
「がんばり部門」頑張っている姿など感動的なワンショットを表現したもの
「フリー部門」なごみ・悲しみ・風刺・社会問題・パロディ・コスプレなどテーマは自由

前提条件: ○「イーパーツ寄贈のリユースPCが写っている、NPO活動に関わる写真」であること
○その際、写真にコメントを200字程度で添付していただくこと

部門優秀賞&グランプリ:

【いきいき部門】

山口ウッドムーンネットワーク(グランプリ作品)《右》

ゆうやんは、サスペンス劇場の好きな、ちょっとお茶目な男の子です。
話し言葉はないけれど、目や表情によるおしゃべりは大変上手。
今日はボランティアさんに囲まれて、パソコンゲーム「KFCへ買い物に行こう」を楽しんでいます。「おいおい、ゆうやん、お支払いがマダですよ。
隣のお姉さんに気を取られてたら食い逃げになるよ。」

[賞品] 200万画素 小型・軽量ムービーカメラ「MotionPix」+
USB接続ビデオチャット用カメラ (30万画素CMOSカメラ)



【がんばり部門】

ふじみの国際交流センター《左下》

[賞品] VD+R/RW, DVD-R/RW, DVD-RAM USB2.0/1.1&IEEE1394対応
8倍速ライト スーパーマルチドライブ DVR-UH8



【フリー部門】

楽しいモグラクラブ《右下》

[賞品] USB 2.0対応 バスパワー駆動
ポータブルハードディスク HDPX-U20(シルバー) 60GB

部門賞:

【いきいき部門】

雅夢《左上》

パソコンサークル・健康が丘《右上》



【がんばり部門】

夢空間松代のまちと心を育てる会《左真中》

灘中央地区まちづくり協議会《右真中》



【フリー部門】

パソコンボランティア金沢《左下》

みさと生涯学習ネットワーク《右下》

[賞品] (部門賞共通)

USB 1.1対応 フラッシュメモリ「EasyDisk Mate」 EDM-128M

審査委員特別賞:

福聚会《右》

[賞品]

USB接続ビデオチャット用カメラ (30万画素CMOSカメラ)



弁論大会

伊勢市民活動センターと協働で、市民活動団体弁論大会を開催いたしました。「ITでつながる市民活動」「子どもとIT」「お年寄りとIT」「外国人とIT」「災害とIT」をテーマに2分間スピーチを募集しました。4団体を優秀団体として表彰致しました。

日時: 2005年6月24日16:00~17:00

会場: 伊勢市民活動センター

主催: イーパーツ、いせコンビネット
協力: (株)アイ・オー・データ機器

審査員: 会田 和弘(イーパーツ)、伊東 俊一(いせコンビネット)、森本 かおり(伊勢志摩NPOネットワークの会)、吉野 太郎(ひょうごんテック)

【最優秀団体】

坂本照子さん「シニア同士をつなぐIT」
キコネット
『シニア同士がインターネット・パソコンを勉強して、どんどん
外の世界へネットワークを広げよう』



【優秀団体】

野口あゆみさん「障害者にとってITとは」
伊勢志摩バリアフリーツアーセンター
<http://www.barifuri.com/>
『障害者が社会に出てがんばるために、情報交換が大切!』



山口和広さん「子どもと一緒にインターネット」
青春キネマ館&キッズシアター上映実行委員会
『映画を親子で見ると、パソコンも親子で一緒に!それが大切』

秋山則子さん「子どもに安全なインターネットは必要」
三重みなみ子どもネットワーク
『子どもたちに安全なインターネット環境を!』



4-6. 研究・出版

『インターネット上の誹謗中傷と責任』

情報ネットワーク法学研究会、(社)テレコムサービス協会編『インターネット上の誹謗中傷と責任』(商事法務)が2005年3月25日付で発刊されました。第5章第3節「トラブルの回避—発信者の留意点を中心に」を、イーパーツ常務理事・会田和弘が執筆しています。

単行本:300 p

サイズ(cm):21

出版社:商事法務

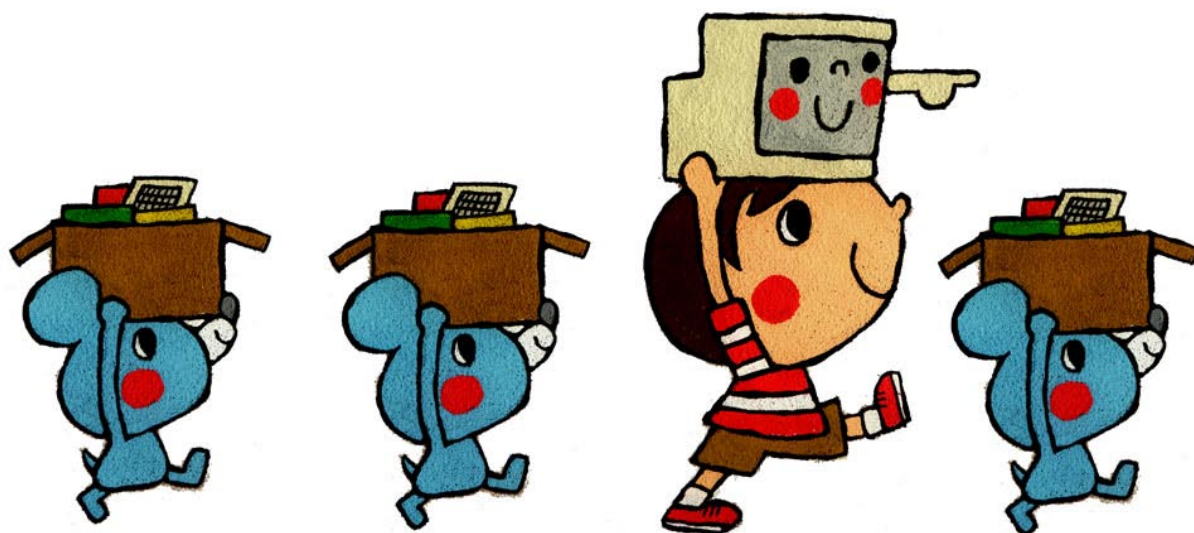
ISBN:4785712244

研究報告

電子情報情報通信技術研究報告 [技術と社会・倫理] 「リスクマネジメント講師養成プログラムの試み」(10/29発表)

電子情報情報通信技術研究報告 [技術と社会・倫理] 「地域における、親子のためのインターネット安全レクチャー」(12/10発表)

電子情報情報通信技術研究報告 [技術と社会・倫理] 「小学生の為の携帯電話利用リテラシー教育に関する研究」(5/20発表)



5. レクチャー

わたしたちは、ただ単にリユースPCを寄贈するだけでは、本当の情報化につながらないと考えています。

市民活動団体やNPOにとって、それぞれの環境何が必要なのか、何が最適なのかを踏まえながら、彼らがより効果的にPCや情報を扱えるようになること、そしてITを活用することで活動がより良い方向へ進んでいくことを応援したいと考えています。

そこでイーパーツでは、市民活動団体・NPOを対象に、行政などと協働しながら、それぞれの現場のニーズに合ったオーダーメイドの各種レクチャーを提案し、開催しています。

これまでには、ワード・エクセル講座、インターネット活用講座、リスクマネジメント講座、ウイルス対策講座、セキュリティ講座などを開催し、参加者から大きな評価をいただいています。



■実施レクチャー一覧

講座名	実施場所	実施回数	受講者延べ人数
ITフォローアップ講座	東京都世田谷区	11回	120名
Word&Excel講座	東京都世田谷区	4回	50名
NPOのためのホームページ作成講座「ブログでつくる、ゼロから始める！ホームページづくり」	東京都新宿区	1回	30名
InDesign講師養成講座	東京都品川区	2回	12名
教師のためのインターネットリスクマネジメント入門	東京都港区	1回	30名
PhotoShop講師養成勉強会	東京都世田谷区	3回	
セキュリティの重要性 — リスクマネジメント、地域版 CIOに向けて —	東京都新宿区	1回	30名
災害と市民メディア	神奈川県横浜市	1回	50名
市民メディアがヨコハマを変える — 市民メディアへの期待と課題 —	神奈川県横浜市	1回	50名
NPOの個人情報の扱い方	神奈川県横浜市	1回	30名
防災における市民メディアへの期待と課題	神奈川県横浜市	1回	20名
保護者のためのブログ講座	東京都世田谷区	1回	10名
地域を核とした情報安全教育の必要性	神奈川県横浜市	1回	100名

5-1. レクチャー実施記録

ITフォローアップ講座	
日時: 2004年 6月5日13:00~15:00 6月14日13:00~15:00 7月12日13:00~15:00 8月9日13:00~15:00 9月13日13:00~15:00 10月12日13:00~15:00 11月8日13:00~15:00 12月13日14:00~16:00 2005年 1月11日13:00~15:00 2月11日13:00~15:00 3月14日13:00~15:00	会場: 世田谷区立粕谷区民センター
主催: (株)世田谷サービス公社	講師: 皿澤 さとみ(イーパーツ)、堀田 隆佳(イーパーツ)
□講座概要: 「ワード・エクセル講座」受講生が、パソコンをより高度に使うためのフォローアップ、そしてさらにスキルアップするための講座です。 □カリキュラム: (1)ワード・エクセル復習 (2)パソコンをで絵を描いてみよう (3)CDから曲を録音 (4)模造紙に印刷	
  	

Word&Excel講座	
日時:2004年 10月14日18:00~20:30 10月15日18:00~20:30 10月21日18:00~20:30 10月22日18:00~20:30	会場: 世田谷区立鎌田区民センター
主催: (株)世田谷サービス公社	講師: 皿澤 さとみ(イーパーツ)、堀田 隆佳(イーパーツ)
□講座概要: 職員向けワンランクアップの「ワード・エクセル講座」です。 □カリキュラム: (1)ワードによるチラシづくり (2)ワードアートによる絵画 (3)エクセルの関数マスター (4)ワードとエクセルのリンク	
  	

NPOのためのホームページ作成講座「ブログでつくる、ゼロから始める！ホームページづくり」	
日時:2004年11月20日11:00~17:30	会場:マイクロソフト株式会社トレーニングルーム
主催:東京ボランティア・市民活動センター 協力:特定非営利活動法人 イーパーツ、マイクロソフト株式会社	講師:神川 亜矢(マイクロソフト)、市川 徹(イーパーツ) アシスタント:マイクロソフトボランティア、イーパーツ
□講座概要: NPO、ボランティア団体を対象に「ブログ」を使い手間をかけずにホームページを作成・更新できる講座です。 □カリキュラム: 第1部:ブログの基礎(神川氏) □インターネットの基礎知識: ホームページが閲覧できるしくみ データをサーバー上に公開するまで □ブログはしくみ: ブログの記事を作成 記事の分類 記事の削除の仕方 コメントのつけ方 トラックバックのつけ方 第2部:NPOのためのホームページづくり講座 (市川) □ホームページの見せ方のポイント: 市民活動にとつてのホームページ ホームページのタイプ ホームページづくりのポイント □ホームページ製作実習1(ワークショップ): コンテンツづくり 中間発表(自己紹介、目的と対象、コンテンツ) □ホームページ製作実習2(ワークショップ): ブログについての説明 ブログへの書き込み作業 □発表(品評会)と講評: ここまででできたホームページ(ブログ)の発表 □まとめ: 講座の振り返り ブログ活用のメリット ブログ活用のお得なツール サイトの紹介 Web管理の注意点	
  	

InDesign講師養成講座	
日時:2004年12月15日、12月22日	会場:アドビシステムズ株式会社レクチャールーム
主催:イーパーツ、アドビシステムズ株式会社	講師:宍道 知子(アドビシステムズ)
□講座概要: 障害者自立のためのDTP講師養成を目的とするInDesign講座です。 □カリキュラム: (1)InDesign の使い方 (2)レイアウトの考え方 (3) OTF (4)文字組み関連 (5)ドロップシャドウ (6)カラーマネージメント (7)作表 (8)分版プレビュー (9)二色刷印刷 (10)PDF/X1~a	

教師のためのインターネットリスクマネジメント入門

日時:2005年1月9日14:00～18:00

会場:港区台場区民センター

主催:千葉大授業づくりネットワーク/メディアリテラシー研究会

講師:会田 和弘(イーパーツ)

□講座概要:

インターネットやメディアリテラシー教育について共に学び議論し、高度情報社会における電子メディアのあり方について考える教員中心の研究会にて、インターネットのリスクマネジメントについて講演。

□講演内容:

(1)インターネットの特徴 (2)インターネットのトラブル例 (3)フィッシング (4)P2Pによる情報共有と著作権 (5)学校の対応 (6)企業による対応 (7)地域での試み

PhotoShop講師養成勉強会

日時:【第1回】2005年1月26日18:30～21:00

【第2回】2005年4月21日18:30～21:00

【第3回】2005年4月29日13:30～16:00

会場:三軒茶屋キャロットタワー3階市民活動支援コーナー

主催:イーパーツ

講師:金子 宏(写真家)、皿澤 ひとみ(イーパーツ)

□講座概要:

フォトショップなどの画像編集ソフトを試用し、障害者や不登校児の自立の可能性を探ります。障害者支援グループと連携し、ハンディキャップのある人に画像編集を教える講師を養成すると共にカリキュラム作成を目指します。
※アドビシステムズ様ご提供Photoshop Elementsを使用。

□カリキュラム:

【第1回】スキャンしたデータの「キズ」修正方法、デジタルカメラデータのレベル補正した後アンシャープネスまで、写真を仕上げるコツをプロから学びました。

【第2回】Photoshop Elementsの各部の名称、写真の修整と補正(回転、自動カラー補正、カラーバリエーション、コピースタンプツール、ぼかし等)を学ぶと共に、その教え方を議論しました。

【第3回】デジカメできれいに撮る方法。写真のイメージづくり、ライティングの手法、修正方法。



セキュリティの重要性 リスクマネジメント、地域版CIOに向けて

日時:2005年2月6日 13:00～20:00

会場:マイクロソフト新宿オフィス

主催:マイクロソフトUP事務局

講師:大分・徳島・宮城・東京各地UPプログラム実施団体、会田 和弘(イーパーツ)

□講座概要:

マイクロソフト社が進めるUPプログラムの実施団体が集まった「UPプログラム フォーラム2005」にて、パソコンを使うスキルだけでなく、インターネットのリスクを理解し解消することの重要性を講演しました。

□講演内容:

(1)セキュリティとは (2)リスクをどう捉えどう共存していくか (3)リスクを共有するには何が必要か (4)どのようなスキルが必要か (5)地域のセキュリティマスター(地域CIO)の必要性

災害と市民メディア	
日時:2005年4月16日13:00~16:00	会場:神奈川県民センター403会議室
主催:横浜市民メディア連絡会シンポジウム	基調講演:日比野 純一(FMわいわい) ファシリテータ:会田 和弘(イーパーツ) パネリスト:原 聡一郎 (ネットディプロジェクトよこはま)、中川 和之(わいわい防災マップ)、 鍋木 孝昭(情報ボランティア)、岩室 晶子(つづき交流ステーション)、山田 美智子 (FM湘南ナバサ)、和田 昌樹(Port Side Station)
□講座概要: 基調講演として、阪神淡路大震災で情報の重要性、災害に備えておくべき事などを、FMわいわいの日比野氏に講演いただき、その後、災害に向け市民メディアがどのように連携すべきかを「防災メディアマップ」としてまとめ、今後の市民メディアがあり方を提案しました。	
 	

市民メディアがヨコハマを変えるー市民メディアへの期待と課題ー	
日時:2005年4月24日 17:30~18:30	会場:横浜市大よこはまアーバンカレッジ
主催:横浜市民メディア連絡会	講師:中村 雅子(武蔵工業大学)、会田 和弘(イーパーツ)他
□講座概要: 災害時に市民メディアはどう活用できるか、そのためには平時に何をしておかねばならないのかという観点から、市民メディアの持つ防災の可能性を考えました。	
□講演内容: 4月16日のシンポジウムの内容を受け、防災のため横浜市内の市民メディアがどのように連携したらよいかをまとめた「防災メディアマップ」を示すと共に、その実現のために資金や人をどのように準備するかが課題であること、また、災害時の情報の正しさ、災害時に情報弱者にならないために日頃から行うべきことを提言しました。	
「防災と市民メディア」第2部資料 ヨコハマ市民メディア白地図 Kazuhiro AIDA, 05/04/24	



NPOの個人情報の扱い方	
日時:2005年5月10日19:00～21:00	会場:かながわ県民活動センター
主催:特定非営利活動法人イーパーツ、特定非営利活動法人まちづくり情報センターかながわ	講師:会田 和弘(イーパーツ)
□講座概要: 「個人情報保護法」とは何なのか?市民活動団体はどのようなことに気をつけなければならないのか?などを実例を上げながらやさしく解説しました。 □カリキュラム: (1)個人情報漏洩の実例とそこから学ぶ点 (2)法律は何を求めているか (3)個人情報保護体制をつくるには	

防災における市民メディアへの期待と課題	
日時:2005年6月15日 17:30～19:30	会場:横浜市内神奈川区(学)岩崎学園
主催:u-Kanagawa推進協議会	講師:会田 和弘(イーパーツ)他
□講座概要: ユビキタス社会の実現を目差すu-Japan構想推進のため、u-Kanagawa推進協議会が進める平成17年度調査研究事業「会の安全・安心を支える産業基盤育成の方策について第1回研究会」にて、「防災における市民メディアへの期待と課題」について会田が講演しました。 □講演内容: (1)災害における情報のあり方 (2)平時より進めることとは (3)学校を地域の核とするネットデイ (4)地域防災の核となる学校 (4)災害時の地域メディアの役割と期待	

保護者のためのブログ講座	
日時: 2005年6月17日19:00～21:00	会場:世田谷区立旭小学校
主催:特定非営利活動法人イーパーツ	講師:会田 和弘(イーパーツ)
□講座概要: 旭SUNSUNスクールメンバー間の情報共有、活動の周知のためにブログを立ち上げたが、更新の仕方がわからないことから十分に活用されていません。そこで、ブログの基本的な仕組み、投稿の仕方、修正の仕方を解説しました。 □カリキュラム: (1)ブログと通常のWebとの違い (2)ID、パスワードによるログイン (3)新規投稿の方法 (4)記事の修正の仕方 (5)ブログを使う上での注意点	

地域を核とした情報安全教育の必要性	
日時:2005年6月18日18:30～21:30	会場:横浜市教育文化ホール
主催:NPO法人全国eタウンフォーラム 後援:横浜教育委員会	講師:会田 和弘(イーパーツ)
□講座概要: 横浜市教育委員会が進めるネットデイを支援するフォーラム。ネットデイは何か?どうすれば成功する?ネットデイ後地域が学校をどう支えていくか?などが話されました。 □講演内容: ネットデイでできた地域と学校との輪で、子どものインターネット利用の安全教育を進める方法を提言しました。	

6. イーパーツのこれから

2004年度の活動テーマは、「地域との連携・コミュニティづくり」でした。これに従い、イーパーツでは、地域型リユースPC寄贈プログラムを神戸・山形・伊勢で展開し、地域コミュニティとの連携を進めてきました。6月30日現在、福井市、大分市、松戸市、川崎市南区、横浜市港南区からも、地域型リユースPC寄贈プログラムへの問い合わせをいただく等、イーパーツと地域コミュニティとの今後の更なる展開が見込まれます。

2005年度は、「ネットワークの活用」をテーマとしたいと考えています。リユースでつながったこの連携で何を今後どのように展開していくかが課題です。

地域の関連団体の得意とするところ、イーパーツの強みを互いに組み合わせ、市民活動団体の情報化や情報化社会の課題解消を目指します。具体的には、以下のようなもの中心に進める予定です。

- 親子PC分解講座
- キッズ パソコンプレイパーク構想
- 障害児アートサロン
- デジタルデバイドの解消
- 障害者の自立支援モデルの構築
- 市民活動団体向けセキュリティ情報発信
- 市民活動向けセキュリティ教育
- 市民活動団体の相互交流

6月に一時停止していたメルマガ「eparts通信」を再開しました。提携団体の投稿記事を載せるなど、これを有効活用し、ネットワーク重視の市民活動支援を充実させたいと考えています。





7. メディア掲載記録

メディア名	掲載・報道時期	タイトル	掲載内容
書籍・雑誌			
NPOジャーナル	2004年 10月号	「インフォメーション」	イーパーツリユースPC寄贈プログラム紹介記事
セタガヤ・ボランティア・ネットワーク(「セボネ」)	2005年 2月号	「リユースPCが地域をつなぐ」	イーパーツリユースPC寄贈プログラム紹介記事
岩波新書『阪神・淡路大震災10年』(柳田邦男編)		「第3章 生きる場はよみがえったか」	ひょうごイーパーツリユースPC寄贈プログラム紹介
社内報			
株式会社大塚商会「あゆみ」No.420	2004/3	「リユースPCを有効に使うために」	リユースPC寄贈プログラム紹介記事
リコー株式会社「Ring」No.335	2005/4	「NPOなど21団体へリユースカラーレーザプリンタを寄贈」	リユースカラーレーザプリンタ寄贈プログラム紹介記事
テレビ・ラジオ			
山形放送テレビ		「やまがたリユースPC寄贈プログラム」	地域版リユースPC寄贈プログラム紹介報道
山形放送テレビ	2005/7/2	「親子で楽しむIT体験講座」	安心安全インターネット紹介報道
山形放送ラジオ	2005/7/2	「親子で楽しむIT体験講座」	安心安全インターネット紹介報道
新聞			
朝日新聞(神戸)	2004/11/8	「台風被災地の県内市民団体にパソコンを無料で提供」	地域版リユースPC寄贈プログラム紹介記事
朝日新聞	2005/2/12	「フィルタリングソフト、詳しくない親も簡単設定」	安心安全インターネット関連コメント
毎日新聞	2005/4/14	「備える！大地震、イメージ浮かぶ情報を」	防災災害復興関連コメント
産経新聞	2005/4/10	「NPO法人山形の市民活動団体にパソコン寄贈先募集」	やまがたイーパーツリユースPC寄贈プログラム紹介記事
山形新聞	2005/4/19	「再生PC贈ります。10台用意、市民団体に」	やまがたイーパーツリユースPC寄贈プログラム紹介記事

読売新聞(山形)	2005/4/23	「パソコン寄贈を企画」	やまがたイーパーツリユース PC寄贈プログラム紹介記事
山形新聞	2005/5/16	「IT活用活動に幅 新しい形の 働き方発見」	やまがたイーパーツリユース PC寄贈プログラム紹介記事
山形新聞	2005/6/27	「理想の講座は午前、無料」	やまがたイーパーツリユース PC寄贈プログラム紹介記事

Webニュース			
ITmedia	2004/11/8	「どう守る？ クリエイターの著 作権」 http://www.itmedia.co.jp/lifestyle/articles/0411/08/news013.html	情報を考えるシリーズ2 紹介記事
共同通信	2004/11/8	「クリエイターは権利主張を 著作権めぐりシンポジウム」	情報を考えるシリーズ2 紹介記事
産経Web	2004/11/8	「クリエイターは権利主張を 著作権めぐりシンポジウム」	情報を考えるシリーズ2 紹介記事
産経Web(山形)	2005/4/10	「NPO法人パソコン寄贈先募 集、山形の市民活動団体に」	やまがたイーパーツリユース PC寄贈プログラム紹介記事
ヨコハマ経済新聞	2005/5/5	「市民メディアがヨコハマを変 える」	防災・災害復興関連記事
ヨコハマ経済新聞	2005/6/20	「ネットデイってどう？ 学校情 報化のフォーラム開催」	安全安心インターネット関連記事

イーパーツのWebが国連主催インターネットサイトコンテストにノミネート！

世界的問題となっているデジタルデバイドの是正に取り組む国際連合情報社会世界サミット大賞(略称:WSA-JAPAN)が2003年より開催しているインターネットサイトコンテストe-Inclusion部門に、イーパーツのWebがノミネートされました。大賞は残念ながら逃しましたが、Webの工夫と見やすさは合格ライン、ということでしょうか。イーパーツのWebは、メインデザインをWebデザイナー松原慶太氏、イラストをイラストレーターきたがわめぐみ氏にお願いしています。

国際連合情報社会世界サミット大賞	http://www.wsis-award-japan.org/
松原慶太	http://www.sublimegraphics.com/
きたがわめぐみ	http://meg.chu.jp/



8. 会計報告(2002～2004)

(単位:円)

科 目	2004 年度	2003 年度	2002 年度
I 収入の部			
1) 会費収入	7,770,000	5,971,429	2,700,000
2) 事業収入			
情報機器の再利用	324,505	0	0
情報機器の利用に必要な技術の供与	1,904,860	4,350,944	48,160
非営利団体の運営、活動に関する研究	0	0	25,000
非営利団体相互の交流の促進	0	0	0
3) その他(PC 購入費、消費税など)	79,225	2,272,991	13,766
4) 前年度繰越金	2,317,675	375,601	5,625,023
収入合計	12,396,265	12,970,905	8,411,949
II 支出の部			
1) 事業費			
特定非営利活動に係る事業			
情報機器の再利用	718,629	2,249,952	530,884
情報機器の利用に必要な技術の供与	824,616	372,200	12,283
非営利団体の運営、活動に関する研究	2,000	0	0
非営利団体相互の交流の促進	0	0	0
事業費支出合計	1,545,245	2,622,152	543,167
2) 管理費			
人件費	5,735,323	5,383,343	2,348,800
運賃・旅費	440,690	534,920	296,310
通信・光熱費	246,262	235,205	331,377
消耗品費	275,073	305,233	293,435
支払手数料	151,464	25,920	851,395
地代家賃	1,430,000	1,320,000	2,017,440
会議費	98,889	103,300	58,724
出張費	0	0	35,660
広報費	320,880	33,720	410,000
雑費	30,400	54,594	846,330
租税公課	1,000	2,000	200
雑損	1,500	32,903	3,510
備品	558,600	0	0
管理費支出合計	9,290,081	7,998,235	7,493,181
支出合計	10,835,326	10,653,290	8,036,348
次年度繰越金	1,560,939	2,317,675	375,601
未払金、所得税・消費税預り金	101,730	409,883	27,918

※ 2005 年 6 月 30 日現在



イーパーツは、リユースPCを無償で寄贈する活動や
シンポジウムの開催などを通して、
非営利組織・ボランティア団体・高齢者グループの支援を
目的とする特定非営利活動法人です。

- 名 称 特定非営利活動法人イーパーツ(東京都認証)
- 設 立 2002年5月23日
- 所在地 〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋 1-17-4 メゾンクロニア 307
TEL&FAX:03-5481-7369 E-mail:info@eparts-jp.org
URL:http://www.eparts-jp.org/
- 役 員
- | | | |
|------|--------|------------------------|
| 代表理事 | 佐々木 良一 | 東京電機大学 教授 |
| 常務理事 | 会田 和弘 | 東京電機大学 産能短期大学 兼任講師 |
| 理 事 | 大塚 裕司 | (株)大塚商会 代表取締役社長 |
| 同 | 緒方 麻弓子 | マイクロソフト(株) |
| 同 | 西部 忠 | 北海道大学 助教授 |
| 同 | 細野 昭雄 | (株)アイ・オー・データ機器 代表取締役社長 |
| 監 事 | 森 亮二 | 弁護士 |
- 支援企業 株式会社大塚商会
マイクロソフト株式会社
株式会社アイ・オー・データ機器
- パートナー企業 アドビシステムズ株式会社
(50音順) 株式会社アルファテクノ
株式会社シマンテック
トレンドマイクロ株式会社
ダイヤモンドレンタルシステム株式会社
日本電気株式会社
日本ヒューレット・パッカード株式会社
株式会社日本ビジネスリース
株式会社リコー

特定非営利活動法人イーパーツ 活動報告書(2004.7~2005.6)

発行日:2005年7月22日

編集・発行:特定非営利活動法人イーパーツ

〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋1-17-4メゾンクロニア307

TEL&FAX:03-5481-7369 E-mail:info@eparts-jp.org

(c) 2005 eparts, All Rights Reserved.